

授業科目	* 保育原理 (CD クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21202J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-2			
担当教員	末寄 雅美							
授業概要	<p>保育者となる上で、保育の基礎的な知識や考え方を身につけ、保育の専門家としての自覚の深化を促す授業である。</p> <p>新たな時代における保育の意味を問うことを通し、これからの保育の在り方や保育者としての課題を理解し、解決する能力を獲得する。</p> <p>講義は、配布されるノートプリントに基づき行う。ノートプリントは適宜提出を求める。</p> <p>授業形態は遠隔授業で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の基礎的な知識を身につける</li> <li>2. 子どもと向き合う態度の基盤として「子ども理解」を身につける</li> <li>3. 保育を取り巻く様々な状況に関心を持つ</li> <li>4. 目指す保育者像を持てるようになる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	35	25	10	0	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	25	25			5		55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10		10		15	10	45	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 現代の保育や子育てをめぐる状況に課題的関心を持って解決しようとする態度を身につける				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育に必要な基本的知識を身につけ、「子どもとはこういうもの」という子ども理解を持つことが出来る</li> <li>2. 保育現場で自己をふり返りながら子どもと関わる事が出来る</li> <li>3. 日頃から保育や子育てをめぐる様々な問題に関心を持てるようになる</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	はじめに 授業の進め方、ノートプリントについての説明 「保育」のとらえ方、保育の意義と概念	講義、ノートプリントを配布するので各自綴っておくこと	授業に出たキーワードについて自分で調べる	30
2	保育の場(1) 幼稚園、保育所、認定こども園のそれぞれの制度の違い 保育の役割、保育の仕事とは	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
3	保育の場(2) 制度の具体的な違いについて、外国の制度との違い、地域と保育	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
4	子ども理解と保育(1) 保育に求められる子ども観、「子どもらしさ」とは何か、子どもらしさの保障	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
5	子ども理解とは(2) 子どもの最善の利益と発達を促す関わり 発達を捉える視点	講義	事例プリントを配布するので熟読すること	60
6	保育の歴史について(1) ルソー、フレーベルの「キンダーガルテン」、モンテッソーリなど	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
7	保育の歴史について(2) 東京女子師範学校附属幼稚園 フレーベル主義への批判と倉橋惣三の「誘導保育論」	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
8	保育内容と保育の方法(1) 保育の基本的原理と方法的原理	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
9	保育内容と保育の方法(2) 保育の形態について、保育内容について事例から考える	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
10	保育の評価、幼児教育としての保育 保育の評価の方法、「10の姿」とは何か	講義	ノートプリントを参考に復習する	60
11	子育て支援と保育(1) 国の少子化対策や子育て支援について、子育てを巡る現代的課題	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
12	子育て支援と保育(2) 待機児童問題と様々な保育ニーズ、地域における子育て支援の実践	講義	ノートプリントを参考に復習する	30
13	保育における安全管理—保育現場でのリスク管理とは	講義	ノートプリントを参考に復習する 新聞記事などを調べる	30
14	まとめと振り返り	講義	これまでの総復習	30
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育に関わる基本的な用語や概念を学ぶ授業である。知識だけでなく、子どもの育ちを支える大人になるために、必要な視点を持って欲しい。 自分がなぜ保育の路を目指しているのか、「いい保育者になる」ことを目標に出来るモチベーション(やる気)を持って欲しい。			
テキスト	指定テキストは無いが、参考になる書籍・資料については適宜授業内で提示する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その他、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」など必要な資料は授業内で適宜指示をする。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	保育現場で求められる基本的な知識や用語などをまず学びます。 要点が分かりやすいよう、ノートプリントは穴埋め形式のプリントを使用します。但し、「これが書けたらOK」ではなく、記載事項は最低限習得して欲しい知識であり、それ以外にも自発的にノートを取る努力をしましょう。メモやノートを取る力量は実習中や現場においても必須です。 分からないことがあれば、恥ずかしがらずに積極的に質問して下さい。最初は皆、分からなくて当たり前です。遠隔授業では、チャット機能を利用した質問もできますので積極的に利用しましょう。メールでの質問も受け付けます。 皆さんのゴールは、テストの結果では無く、「いい保育者になる」ことであることを忘れずに。			
達成度評価に関するコメント	この授業では、小テストと期末試験を行い、知識の理解度を評価します。加えて授業内で指示する小レポートと授業の最後にノートプリントの提出を課しますが、それも併せて評価の対象とします。配布されたプリントは、きちんと綴るなど保管するようにしましょう。 レポート外提出物は、授業内で使用するワークシートの提出状況と内容で評価をします。 「その他」では、授業への積極的な受講態度を評価します。 積極的な質問や授業内での発言を求めます。 私語、退席、居眠り、授業でのルールを守らない行為などは減点します。			

